

冒険心が飛翔する“100人の戯空間”
ウイング フィールド
 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F
 TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312
 ウイングフィールド公式サイト URL <http://wing-f.main.jp/>

ウイングフィールド提携公演

2/1(金) 7:30 作・演出／中村ケンシ
 2(土) 2:00
 6:00 **「ムスウノヒモ」**
 3(日) 11:00 出演／空の驛舎
 3:00

料金／前売 3,000 円 当日 3,300 円

U-22 2,000 円 (要証明証) 高校生以下 1,000 円 (要証明証)

異・同分野交流サロン「月曜倶楽部」

WINGCUP

4(月) 7:00 **ウイングカップ9 後夜祭**

料金／無料 (要予約)

ウイングフィールド提携公演

乗劇

作・演出／田中遊
 5(火) 7:30 **「戲式 vol.9」 大阪**

出演／正直者の会

料金／2,000 円 (前売・当日共) 22 歳以下 1,500 円 (要証明証)

ウイングフィールド提携公演

作・演出／浦部喜行
 9(土) 7:00 **「ホワイトスノー — 神宿る此岸の曲がり角」**

出演／浪花グランドロマン

11(月・祝) 2:00 料金／一般前売 2,500 円 一般当日 2,800 円

大学生・専門学生 2,000 円 (要証明証)

中高生・65 歳以上・HC をお持ちの方 1,000 円 (要証明証)

小学生以下無料

作・演出／関下怜

若劇

23(土) 7:00 **「赫く染まる」**

24(日) 1:00 出演／NEW FACE

料金／前売 2,000 円 当日 2,500 円

感無量寿経 その218

あの日から「20年」。

小堀 純

1999 年 6 月 14 日、私は博多にいた。
 西鉄ホールのオープニング企画「谷古宇正彦写
 真展」のお手伝いに来ていた。

6 月 12 日が谷古宇さん、風間杜夫、岡本麗のト
 ークショー、翌 13 日が内藤裕敬だった。

12 日の打ち上げが終わり、いい調子に酔っぱらっ
 た私がホテルに着くと、福本年雄さんから「至急、
 連絡ください!」のメッセージ。

イヤな予感した。

まだ携帯電話を持っておらず、ホテルの部屋か
 ら福本さんに電話すると、

「中島陸郎さんが危篤です」と悲愴な声が返
 ってきた。

「福本さん、何でもっと早く、おれに知らせないん
 だ!」

酒の酔いもあっただろうが、怒鳴る私に福本さん
 は、

「ほくも昨日、聞いたばかりで……」

聞けば、中島さんは兵庫県三田のホスピスに入
 っていて、恋人の喜尚見子さんが付き添っていると
 いう。

この一両日がヤマということで、とにかく何かあつ
 たら居場所に連絡してくれとその日は電話を切った。

13 日の午後、大阪から内藤裕敬がやって来た。
 その日の夜は内藤、谷古宇さん、私のトークショー
 である。私は内藤に会うなり、

「中島さんが危篤だそうだ」と伝えた。

いつもは明るい内藤の顔が陰しくなった。

無事にトークショーも終わり、打ち上げとなった。
 博多は大阪以上に美味しいものが揃っている土地
 柄だ。でも、落ち着かない。

店に入ってすぐに福本さんから私に電話が入つ
 た。

「中島さん、今のところは落ち着いています」

ホッとした私と内藤は大酒を飲んだ。

翌14日は何故か、朝早く目が覚めた。8時頃だ
 ったか、福本さんから、

「中島さんがお亡くなりになりました」

と電話があった。すぐに内藤に電話すると、彼も早
 くから起きていたという。

私は中島さんの教え子たちに連絡した。内藤も
 そのひとりだが、オレンジルーム～ウイングフィール
 ドの名プロデューサーとして、数多の演劇人を育て
 た中島さんだが、自分からは「育てた」という
 ヤボなことは云わない人だった。そういう人だからこ
 そ、育てられた人は数多いのだろう。全員に連絡
 できないので、数珠つなぎ式に連絡を廻した。そ
 の日の夕刊に訃報が載り、多くの演劇人、報道関
 係者が三田のホスピスに集まった。ホスピスには教
 会があり、中島さんはそこで洗礼を受けていた。

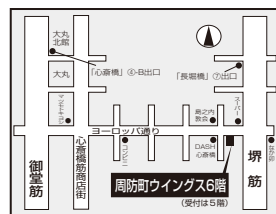
教会に泊まり込む人も多く、翌朝早く訪れる人も
 いた。

亡くなって一年後の 2000 年 6 月 14 日には、中島さ
 んが企画立案して出来た芸術創造館で盛大な偲
 ぶ会が開かれた。

オープニングが一斗樽の鏡抜きでメンバーは、教
 え子たちの辰巳琢郎、内藤裕敬、いのうえひでのり、
 マキノノゾミだった。みんな「中島陸郎さんの生涯
 に祝福あれ!」と、にぎやかで笑いのたえない会だ
 った。

今年の中島陸郎さんが 68 歳で亡くなってから、
 「20 年」になる。

(無宿編集者)



次代を担う表現活動を、微力ながら支援します。

す おう まち
周防町ウイングス